

フォントの解説

青柳隸書しもフォントは、百パーセント手書きのフォントです。漢字は第一水準の二千九百六十五文字、及びひらがなカタカナと僅かの記号のみ含まれています。数字とほとんどの記号は含まれていません。

フォントの元になった手書きの隸書は、書家の青柳衡山先生が揮ごうされたものです。

青柳衡山先生は、既にかい書行書草書のフォントを発表されていますが、この隸書フォントの元字は、ご自身のホームページにて公開されて、誰かフォントを作成しませんか、と呼ばけられたものです。

作成編集に際しては、先生の元字に対して極力手を加えないようにしました。が、いくつかの点で、多少の編集を加えてあります。

一、基本的に文字の大きさを揃えたこと。

二、多少横長に揃えたこと。横は中いっばいで縦は八割程度としてあります。勿論文字によってかなり変えています。

三、傾きの微調整をしたこと。

その他句読点など一部の文字は他の字の部分から作成したものが含まれています。

上記一と二の方針により、縦書きに使用すると中心がずれる場合があります。

このフォントの作成にあたっては、武蔵システムさん <http://musashi.or.tv/> のTTEdit 及び OTEdit for Windows を使用しました。大変使いやすい有用なソフトを安価で提供していただきありがとうございます。

フォントの作成作業は、平成二十年四月にスタートし、平成二十一年五月の終わり頃までかかって漸く第一水準の漢字全ての作成が終了しました。お忙しい中、素晴らしい文字を一字一字書いてはスキャンしてホームページにアップしていただいた青柳衡山先生に感謝いたします。

平成二十一年五月 じ